

※※ 2005年6月改訂(第4版、薬事法改正に伴う改訂)
※ 2004年2月改訂(第3版)

日本標準商品分類番号 8 7 5 2 0 0

承認番号:(62AM)第0490号

薬価収載:昭和63年3月

販売開始:昭和63年4月

漢方製剤
SKM8
商品番号



だいさいこうとう

サカモト大柴胡湯エキス顆粒-S

貯法:取扱上の注意の項参照

※【組成・性状】

組成	本品 9.0g 中、下記の混合生薬より抽出した水製乾燥エキス 4.29g を含有する。 日局サイコ……………6.0g 日局シャクヤク… 3.0g 日局ハンゲ……………4.0g 日局タイソウ… 3.0g 日局ショウキョウ…1.0g 日局キジツ……………2.0g 日局オウゴン……………3.0g 日局ダイオウ……………1.0g	
	添加物	日局乳糖、日局結晶セルロース、日局ステアリン酸Mg
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡黄褐色～灰褐色
	におい	特異なにおい
	味	甘苦い
識別コード	SKM8	

【効能・効果】

がっしりとした体格で比較的体力があり、便秘の傾向のあるものの次の諸症：

胃炎、常習便秘、高血圧に伴う肩こり、頭痛、便秘、肩こり、肥胖症

【用法・用量】

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

【慎重投与】(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 下痢、軟便のある患者 [これらの症状が悪化するおそれがある。]
- 2) 著しく胃腸の虚弱な患者 [食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。]
- 3) 著しく体力の衰えている患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]

【重要な基本的注意】

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
- 3) ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法・用量に注意すること。

【副作用】

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

- 1) 重大な副作用
 - (1) 間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
 - (2) 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

	頻度不明
消化器	食欲不振、腹痛、下痢等

【高齢者への投与】

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【妊婦、産婦、授乳婦等への投与】

- 1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるダイオウの子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用により流産の危険性がある。〕
- 2) 授乳中の婦人には慎重に投与すること。〔本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。〕

【小児等への投与】

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

【取扱上の注意】

<貯法>

- 1) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- 2) 誤用をさけ、品質を保持するために他の容器に入れかえないで下さい。
- 3) 開封後は特に湿気をさけ、フタをよく閉める等、取り扱いに注意して下さい。

※【包装】

500g、3.0g×294包、3.0g×84包

【主要文献】

文献：傷寒論、金匱要略

解説書：大塚敬節、矢数道明、清水藤太郎

共著：漢方診療の実際、南山堂

【文献請求先】

株式会社阪本漢法製薬研究開発部

〒661-0021 尼崎市名神町1丁目5番12号

※※ 製造販売元

株式会社阪本漢法製薬

〒530-0057 大阪市北区曾根崎2丁目7番4号